



Exceed One

Group User Designer

for Office 365

目次

1. 動作環境	3
2. 基本的な仕組み	4
3 アプリケーションの起動	5
3. 1 アクセス権の登録	5
3. 2 サインイン	7
4. 機能	8
4. 1 グループとユーザー	9
4. 1. 1 メンバーの追加	11
4. 1. 2 メンバーの削除	13
4. 2 レポート	15
4. 2. 1 ダウンロード	17
5. アプリケーションの終了	21
5. 1 サインアウト	21

※Microsoft, Office 365 および Azure は米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

1. 動作環境

Office 365 :

- Office365(管理センターの使用できるプラン)

Azure

- App Service (※当社にて用意)

ブラウザ :

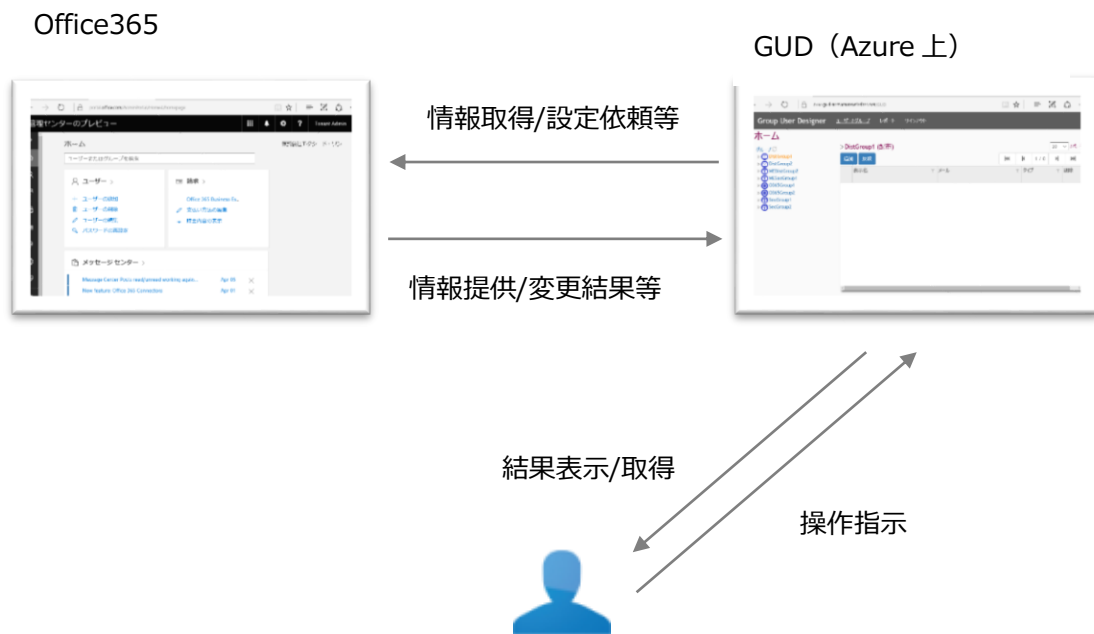
- Microsoft Internet Explorer 10 or 11
- Microsoft Edge
- Google Chrome
- Mozilla FireFox

- ・「Group User Designer」(以下、本書では GUD と略) は Internet Explorer 8 および 9 をサポートしていません。
- ・表示、出力される言語は、ブラウザの設定に依存します。

2. 基本的な仕組み

GUD は Office 365 と Azure App Service で動作するグループ管理アプリケーションです。

- Office 365 と Azure が連携して動作します。
- GUD を利用することにより、当社環境に保存されるデータ等はありません。
- GUD を利用するには、操作を行う Office 365 の管理者権限を有するアカウントが必要です。



3 アプリケーションの起動

GUD はインストール不要な Web アプリケーションです。

以下の URL から GUD を利用することができます。

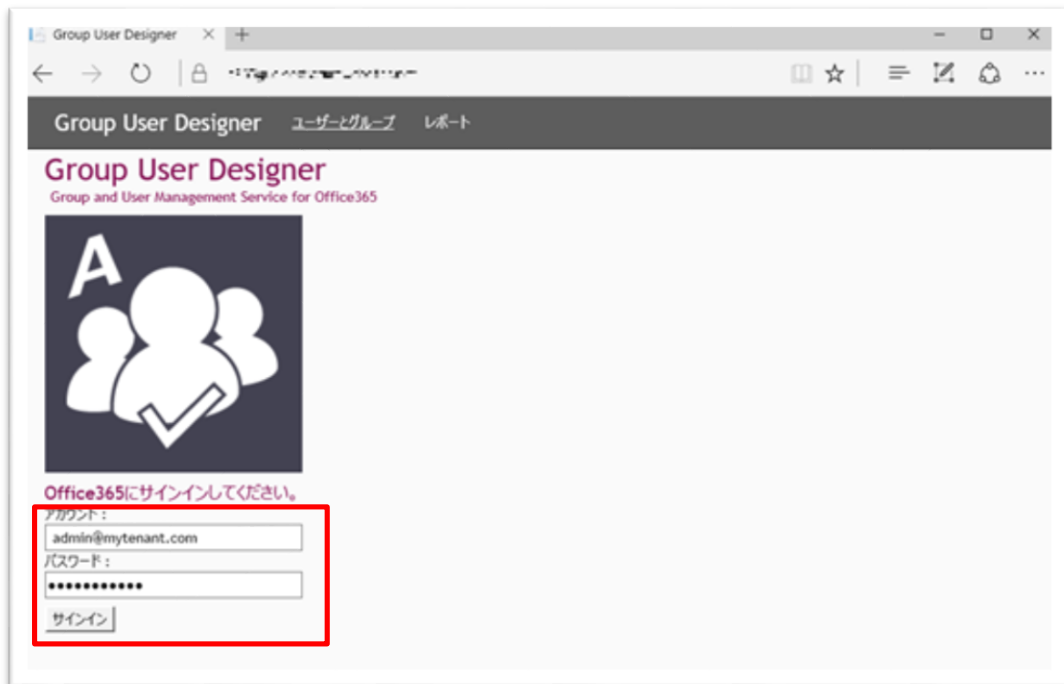
URL : <https://a365gud.azurewebsites.net/>

注意)

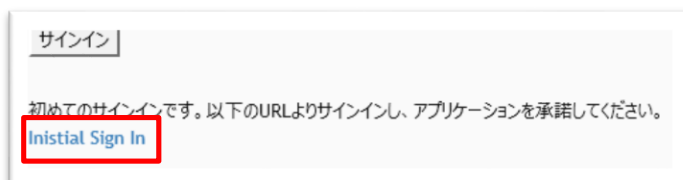
初回実行時、テナントに対する Office365 (Azure Active Directory) のアクセス権設定が必要です。

3. 1 アクセス権の登録

作業を行うテナントの、Office365 のアカウントとパスワードを入力します。

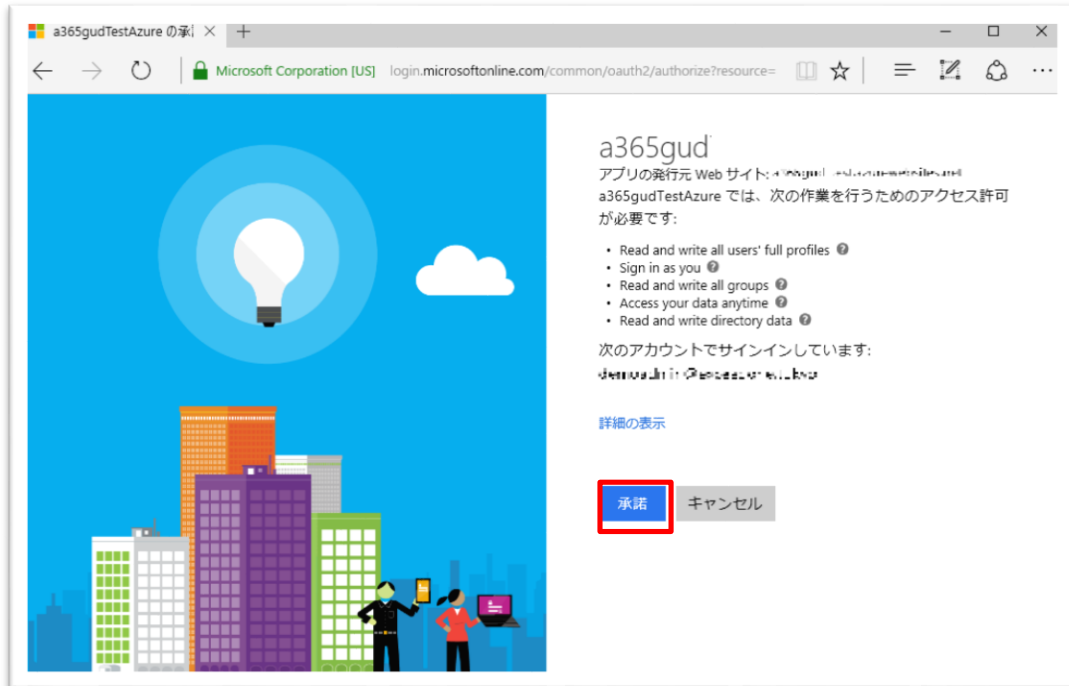


「初めての～」の下にある「Initial Sign In」をクリックします。



Office365 のサインイン画面が表示されますので、アカウントとパスワードを入力します。
その後、GUD が Office365 に対するアクセス許可を求める画面が表示されますので、「承諾」をクリックします。

承諾後、GUD のサインイン画面に戻ります。

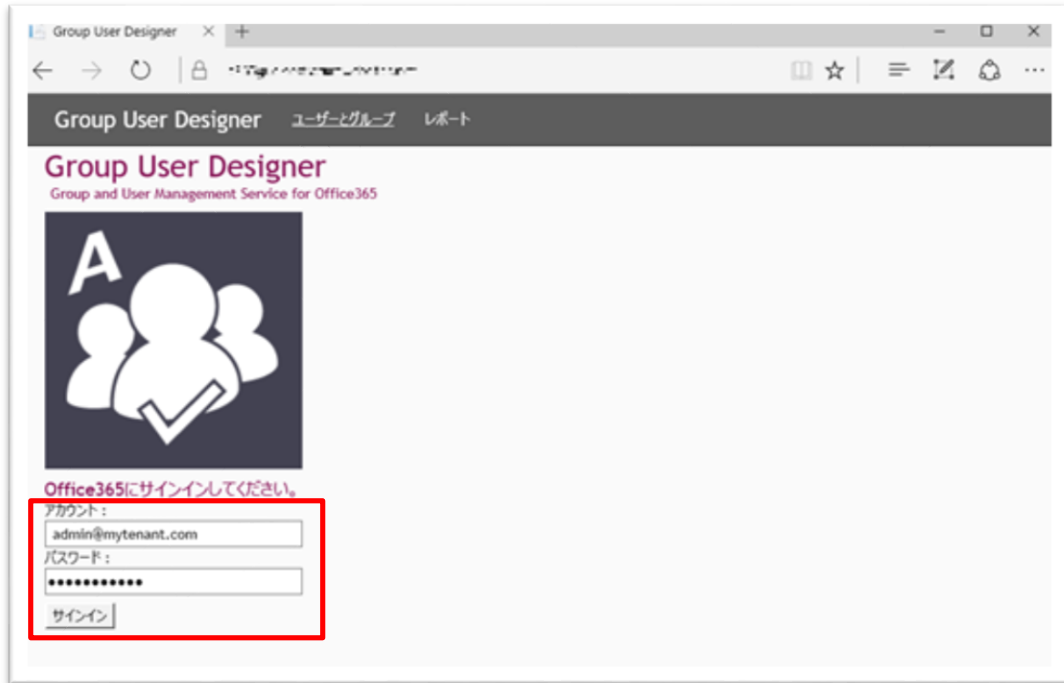


注意)

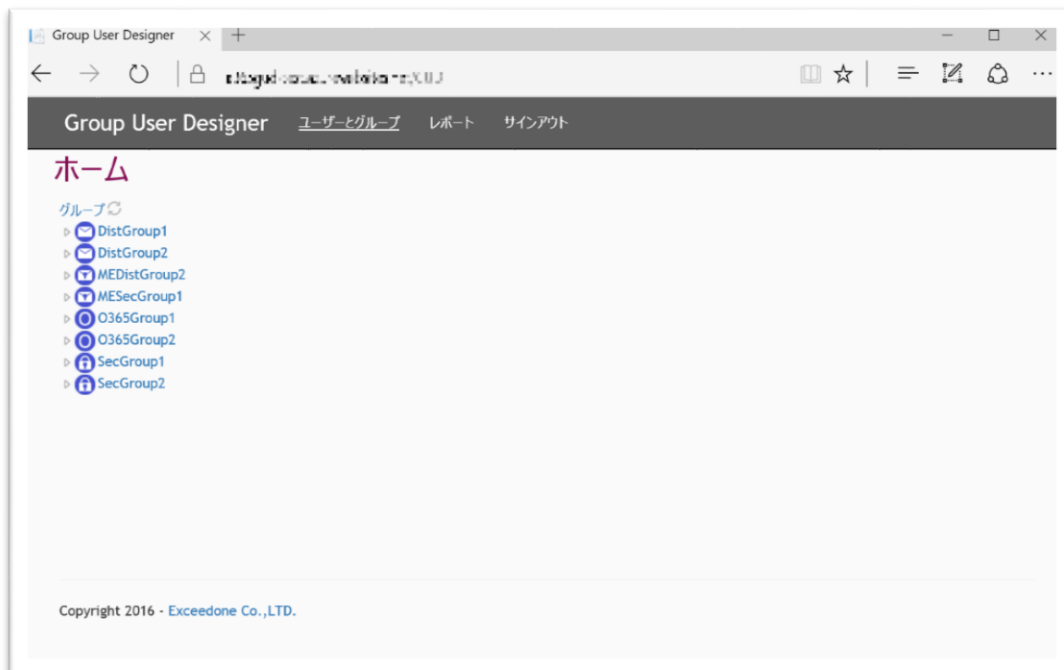
- ・承諾しない場合、GUD は使用できません。
- ・承諾の取り消し（アクセス権削除）は、Azure Active Directory の管理画面より、いつでも削除できます。Azure Active Directory の管理画面については Microsoft 社にお問合せください。

3. 2 サインイン

作業を行うテナントの、Office365 のアカウントとパスワードを入力します。



サインインが成功すると、初期画面が表示されます。



4. 機能

提供されている機能は以下のとおりです。

メニュー	機能	内容
グループとユーザー	追加	グループにユーザーを追加します。
	削除	グループからユーザーを削除します。
レポート	グループ一覧	グループ一覧を出力します。
	ユーザー一覧	ユーザー一覧を出力します。
	グループ/メンバー一覧	グループメンバー（ユーザー）をグループ別に出 力します。
	グループ×ユーザー	グループに所属しているユーザーを、ユーザー軸 で出力します。
	ユーザー×グループ	グループに所属しているユーザーを、グループ軸 で出力します。
	グループツリー	グループ情報をツリー出力します。

※2016.04 時点での機能です。今後変更・追加される場合があります。

4. 1 グループとユーザー

メニューより「グループとユーザー」をクリックします。








画面構成



操作するグループは、グループ選択（ツリー）から選択します。



ツリーのアイコンの意味は以下の通りです。

アイコン	種類
	セキュリティーグループ
	配布グループ
	メールが有効な配布グループ
	Office365 グループ
	ユーザー
	連絡先
	特定できないグループ・ユーザー

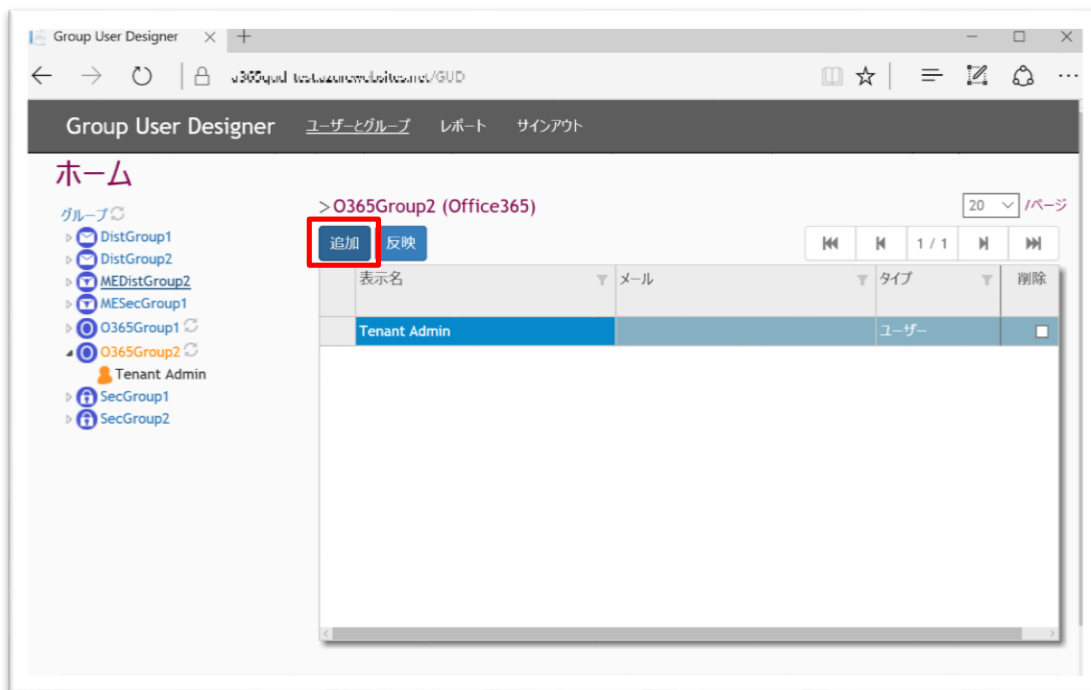
※SharePoint のグループ、および動的配布グループは対象外です。

4. 1. 1 メンバーの追加

各グループに追加できる対象は以下のとおりです。

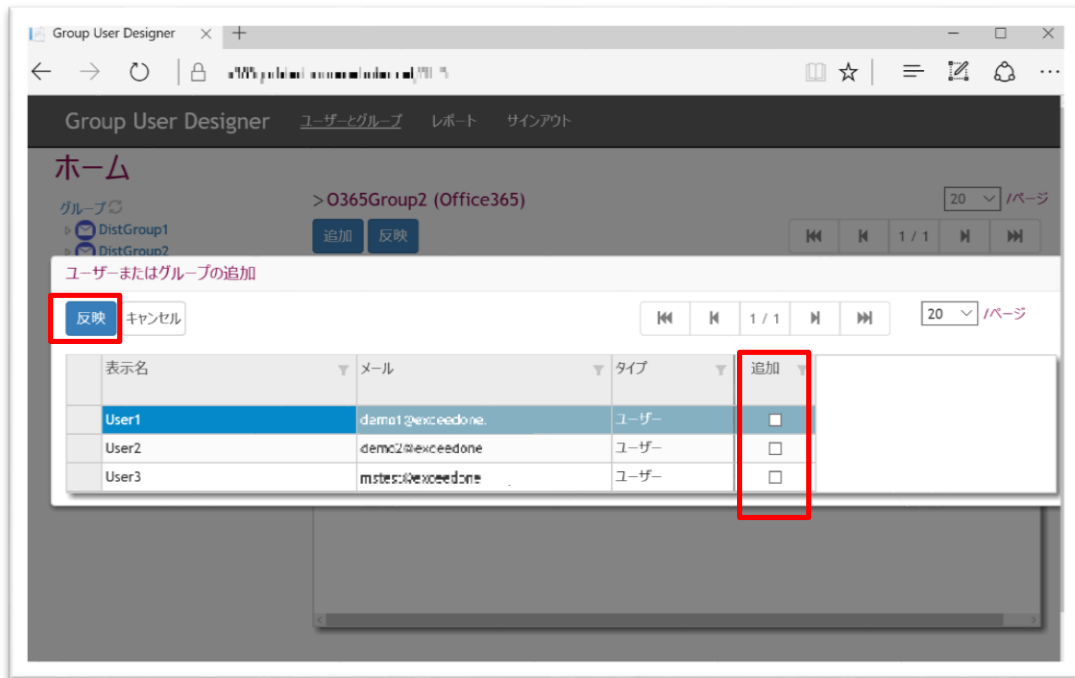
	セキュリティ	メールが有効な セキュリティ	配布	Office365	ユーザー	連絡先
セキュリティ	○	○	○	○	○	—
メールが有効な セキュリティ	—	○	○	—	○	○
配布	—	○	○	—	○	○
Office365	—	—	—	—	○	—

メンバーを追加するグループを選択し、「追加」をクリックします。

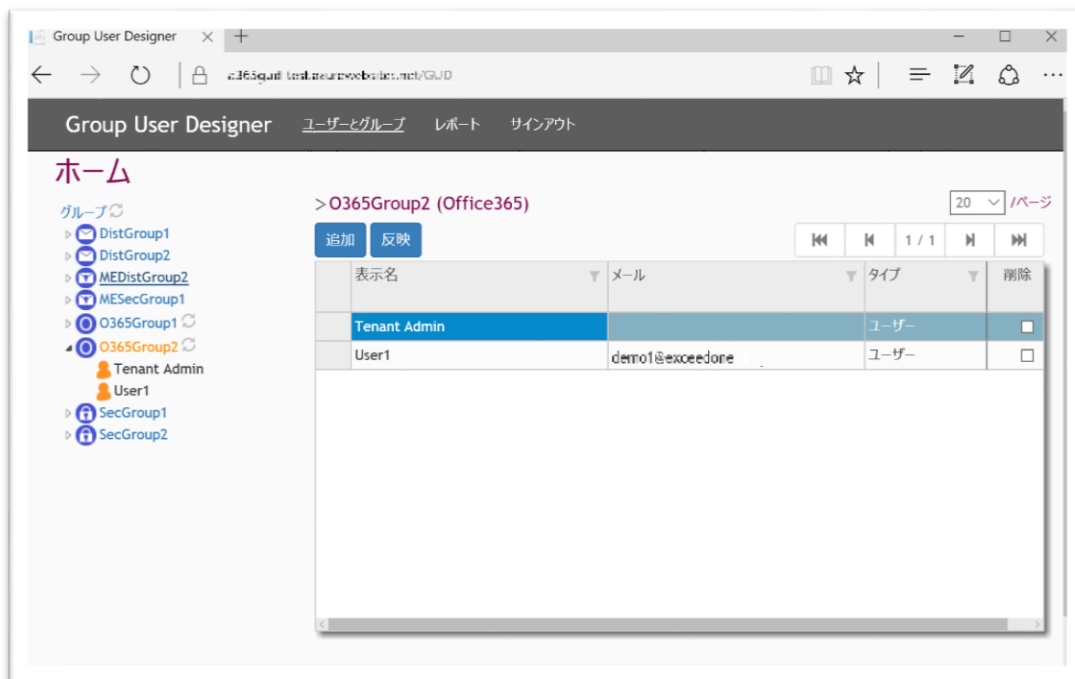


追加できるグループ、ユーザー等が一覧表示されます。

追加したい対象の「追加」チェックボックスを選択し、「反映」をクリックします。



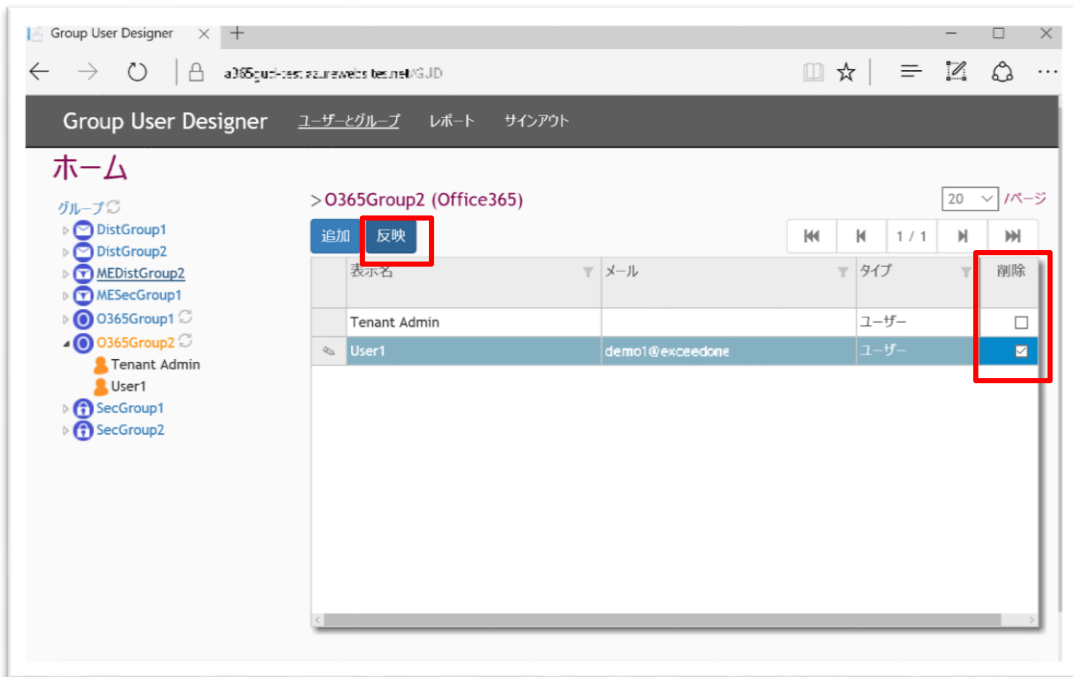
追加した結果がグループメンバー一覧およびグループ選択ツリーに表示されます。



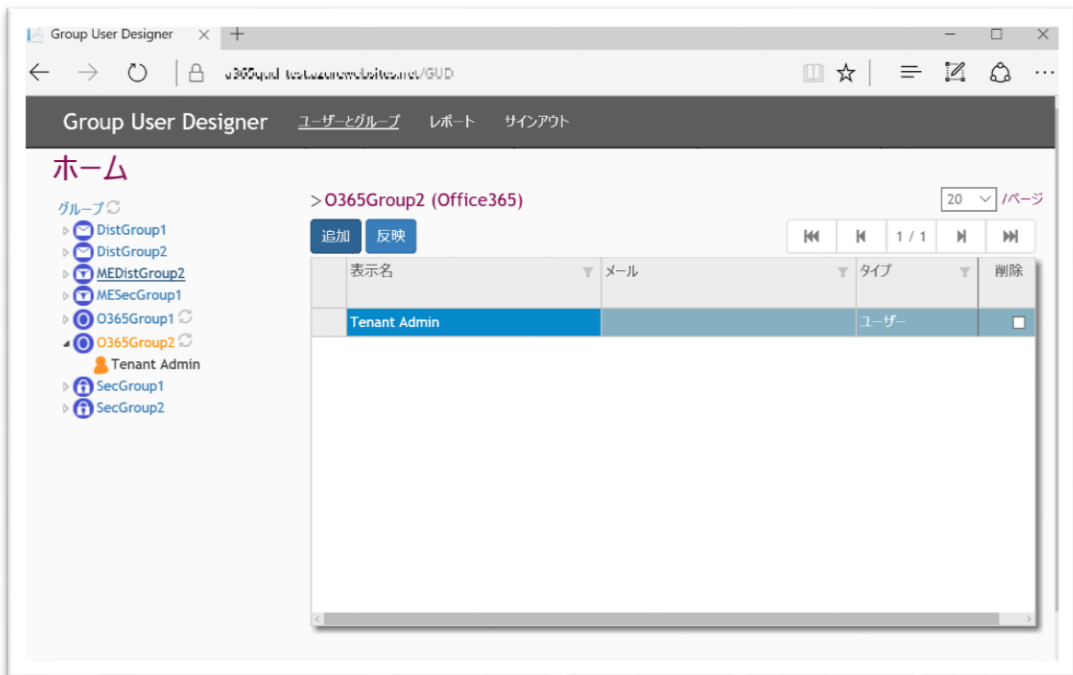
4. 1. 2 メンバーの削除

メンバーを削除するグループを選択します。

削除したい対象の「削除」チェックボックスを選択し、「反映」をクリックします。



削除した結果がグループメンバー一覧およびグループ選択ツリーに表示されます。



●制約事項

① 表示に時間がかかる

- ・「配布グループ」および「メールが有効な配布グループ」に更新（追加・削除）を行った場合、表示に反映されるまで時間がかかります（数分）。更新した対象がツリーやメンバー一覧に表示されない場合、時間を空けて再度確認してください。
- ・更新作業そのものは行われているため、同じ作業は行わないでください。この場合、以下のようなメッセージが出力されます。

例) 既に追加済みのユーザーについて、再度追加操作を行った場合



② 連続操作の制約

- ・「配布グループ」および「メールが有効な配布グループ」に対し、連続して更新（追加・削除）の操作を行うと、エラーが発生する場合があります。このエラーが発生した場合は、時間を空けてから再度操作を行ってください。

エラー例)



4. 2 レポート

メニューより「レポート」をクリックします。

画面構成



注意)

- ・レポート画面でグループ選択ツリーの操作ができますが、レポート機能には影響しません。選択したグループに関係なく、すべてのグループを対象として処理されます。

レポートの種類と内容は以下のとおりです。

名称	内容
グループ一覧	Office365 に登録されているグループ一覧を出力します。
ユーザー一覧	Office365 に登録されているユーザー一覧を出力します。
グループ/メンバー一覧	グループに所属しているメンバー（ユーザー）を出力します。
グループ×ユーザー	グループに所属しているユーザーを、ユーザー軸で出力します。 グループに所属している場合、ユーザーと交差する箇所に“○”が出力されます。
ユーザー×グループ	グループに所属しているユーザーを、グループ軸で出力します。 グループに所属している場合、ユーザーと交差する箇所に“○”が出力されます。
グループツリー	グループ情報をツリー出力します。 グループの下位階層にグループが登録されている場合は、そのグループ内容を展開して出力します。（最大 100 階層）

- ・ SharePoint のグループおよび動的グループは出力されません。
- ・ Office365 上に設定されていない項目は空白となります。
- ・ セキュリティグループにメールアドレス設定はありませんので、各レポートの「メールアドレス」欄は空白となります。

4. 2. 1 ダウンロード

出力したいレポートにチェックを入れ、「ダウンロード」をクリックします。



処理が終わると、ファイルが作成されます。

ファイル名 : GroupUserReport.xlsx

- ・使用しているブラウザにより、手動で保存する、自動的に保存される、など動作が異なります。
- ・選択されていないレポートは出力されません。

各レポートの項目内容は以下のとおりです。

各項目の詳細は Office365 の説明を参照ください。

① Group

登録されているグループの一覧を、設定情報と共に取得します。

ID	Office365 内の識別子
表示名	表示名
ニックネーム	ニックネーム
説明	グループの説明
プロキシアドレス	グループに設定されているメールアドレス
グループタイプ	グループのタイプ ※Office365 グループの場合、“Unified”と出力
セキュリティー	セキュリティーグループの場合“True”
メール	メールアドレスが設定されている場合“True”
属性	グループの属性 ※Office365 グループの場合出力
OnPremisesLastSyncDateTime	オンプレミス環境と連携している場合出力
OnPremisesSecurityIdentifier	オンプレミス環境と連携している場合出力
OnPremisesSyncEnabled	オンプレミス環境と連携している場合出力

② User

登録されているユーザーの一覧を、設定情報と共に取得します。

ID	Office365 内の識別子
表示名	表示名
氏	ユーザーの名字 (Family Name)
名	ユーザーの名前 (Given Name)
メールアドレス	メールアドレス
携帯電話	携帯電話番号
所属	所属情報
役職	役職情報
所在	所在情報
電話 (会社)	電話番号 (会社)
言語	ユーザーに設定されている言語情報
アカウント名	アカウント名 (Principal Name)

③ GroupMember

グループに所属しているメンバーを取得します。

※メンバーとして登録されているグループは展開されません。展開情報を取得したい場合は「GroupTree」を出力してください。

グループ名	グループ名 メンバーが複数登録されている場合は、複数行表示されます。
グループメールアドレス	グループに設定されているメールアドレス メンバーが複数登録されている場合は、複数行表示されます。
メンバー名	グループに所属しているメンバー名（グループ含む）
メールアドレス	メンバーのメールアドレス
所属	メンバーの所属情報

④ GroupUserMatrix

グループと所属メンバーを格子状に表現します。

表示名	メンバーの表示名
メールアドレス	メンバーのメールアドレス
所属	メンバーの所属情報
タイプ	メンバータイプ
縦軸	グループに所属しているメンバー一覧
横軸	グループ一覧

⑤ UserGroupMatrix

グループと所属メンバーを格子状に表現します。

グループ名	グループの表示名
グループメールアドレス	グループに設定されているメールアドレス
縦軸	グループ一覧
横軸	グループに所属しているメンバー一覧

⑥ GroupTree

グループに所属しているメンバーをツリー構造で出力します。

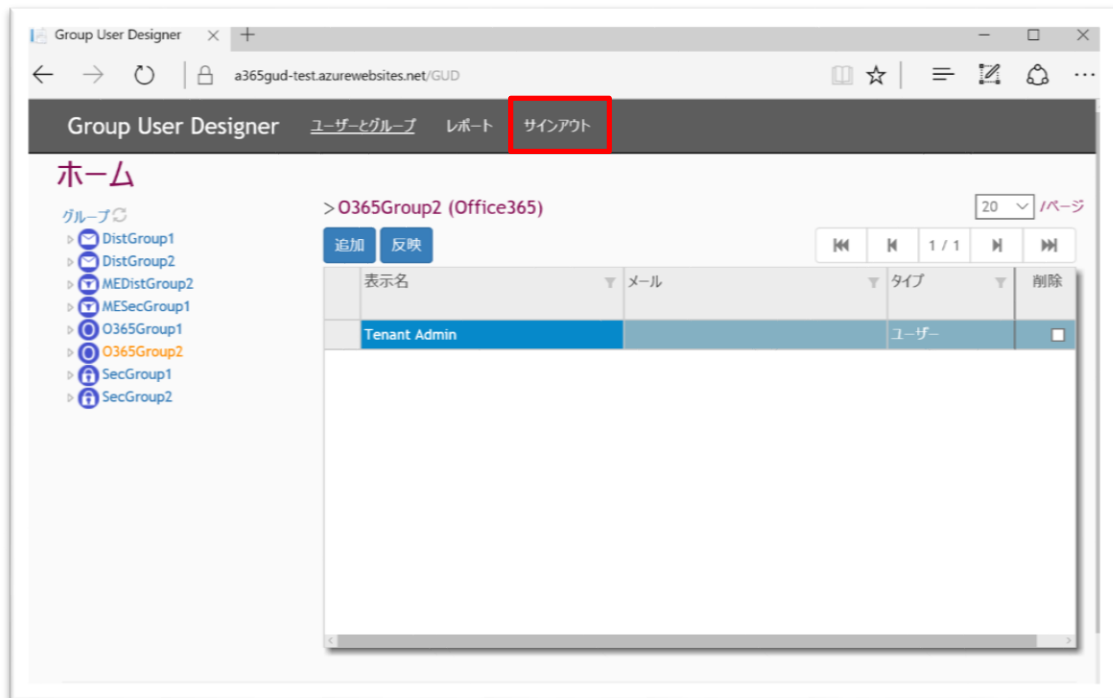
グループにグループが所属している場合はそのグループメンバーも展開されますので、対象グループに所属している全ユーザー情報が取得できます。

タイプ	所属しているメンバーのタイプ
表示名	所属しているメンバーの表示名
タイプ	グループタイプ
グループ名	グループの表示名
階層 1~99	グループに所属しているメンバー情報 グループが所属している場合、下位階層にそのグループのメンバー情報が展開されます。

5. アプリケーションの終了

5. 1 サインアウト

作業を終了する際は「サインアウト」をクリックします。



注意)

一定時間操作がない場合、自動的にサインアウトされます。

製造・販売 : 株式会社エクシード・ワン

発行日 : 2016/04/18

The logo for Exceed1 features the word "Exceed1" in a bold, blue, italicized sans-serif font. The number "1" is significantly larger than the other characters. A light blue, elongated, teardrop-shaped graphic element is positioned behind the text, extending from the top left towards the bottom right, creating a sense of motion or speed.